

令和4年度 第4回環境審議会議事録

1 日時 令和5年1月26日(木) 午前10時から午前11時50分

2 場所 知立市現業棟2F第9会議室

3 出席者及び欠席者

(1)出席者 大里健二 会長、三原哲 委員、日比野佐知子 委員
上野裕則 委員、尾崎聡 委員、小川雄一 委員
阪野嘉子 委員

(2)欠席者 山本裕嗣 副会長、上田智美 委員、足立達信 委員

(3)事務局 小栗朋広 市民部長、奥村康明 環境課長
宮本 恵美 環境課長補佐兼ゼロカーボン推進係長
大山純司 環境課長補佐兼ごみ減量係長、
金原勇貴 環境課主査、水谷亮介 環境課主査

4 議題及び内容

あいさつ

議題事項1 「第3次一般廃棄物処理基本計画(改定案)」について

【答 申】 「第3次一般廃棄物処理基本計画(改定案)」について

議題事項2 (1) 「令和5年度知立市一般廃棄物処理実施計画」について

(2) 「令和5年度知立市環境保全事業計画」について

(3) 「第2次知立市環境基本計画前期実施計画」について

報告事項 (1) 第2次知立市環境基本計画前期実施計画2021年度実績報告について

(2) 知立市エコプラン令和3年度実績報告について

【主な意見・質疑応答】

議題事項1 「第3次一般廃棄物処理基本計画(改定案)」について

事務局 事業系ごみの項目の下「新型コロナ感染症の猛威が収まりつつある中」と記載がありますが、コロナ禍が収まると事業活動が活発になる、当然事業系ごみが増えてくる、何もしないと事業系ごみが増えていくが、現状維持ができるように事業所と連携していきましょと目標設定していますが、大前提であるコロナが収束しているかどうかの表記を修正等の議論させていただきたいです。

委 員 「猛威が収まりつつ」と断定はしないほうがいいので、「流行が見通せない」との表記がいいと思います、ただし今後の経済活動は活性化する可能性が高い旨の記載すればいいと思います。

事務局 「新型コロナ感染症の先行きが見通せない中でも社会情勢は今後も変わってくる可能性がある」と表現をさせていただきます。

会 長 他にご意見が無いようでしたら「第3次知立市一般廃棄物処理基本計画(改定案)」については、本案をもって、この会の答申とすることよろしいでしょうか。

委 員 異議なし

会 長 ご異議がないようなので、本協議会の答申案と決定しました。

【答 申】 「第3次一般廃棄物処理基本計画（改定案）」について

会 長 第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて（答申）

令和4年9月1日付知環第54号にて諮問のありました第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の改定に係る改定について、本審議会においてこれまでに4回にわたる会議を重ね、慎重に審議を行った結果、別添の第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに係る改定案につきましては適当であるとの結論を得たので答申します。

市長におかれましては、この答申及び審議過程で各委員から出された意見を十分踏まえ、第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに係る改定により、基本目標である「市民・事業者・行政の協働による『資源循環型都市「知立」の実現』の達成に努められるよう要望します。

事務局 しっかり着実に進めさせていただきます。

議題事項2（1）「令和5年度知立市一般廃棄物処理実施計画」について

委 員 環境面からの市民の活動についてSDGSについて、あれば公表してほしい。

事務局 事例があれば報告していきたいと思います。

報告事項1「令和5年度知立市環境保全事業計画」について

委 員 住宅用地球温暖化対策設備補助事業について、「補助が受けられなかった」という話を聞いたことがあるが、制度があっても補助が受けられないことはあるか。

事務局 補助金の予算が残っている中で、申請ができなかったということであれば、補助要綱に定める条件に合わず、補助が受けられなかったと考えられる。施工業者による枠や制限はなく、交付決定は先着順となる。

報告事項2 「第2次知立市環境基本計画前期実施計画」について

事務局 前期実施計画の計画期間は2019年度から2022年度となっており、本来であれば本年度が最終年度にあたるため、後期計画を策定が新たに必要となる。しかしながら、来年度に「第2次知立市環境基本計画」の中間見直しを控えているため、前期実施計画を1年延長したうえで、中間見直しに合わせて後期実施計画を作成することを提案したいが、よろしいか。

委 員 異議なし。

報告事項3 「令和3年度 温室効果ガスの総排出量」について

委 員 エネルギーの消費量が減らなければ、排出量は減らないが、知立市独自の取り組みによる増減要因はあるか。また、目標達成の見通しについてはいかがか。

事務局 エネルギー消費量が増加した要因としては、学校へのエアコンの設置、減少した要

因としては、市役所照明の LED 化などが挙げられる。目標には届いていないが、地域新電力会社からクリーンな電力を調達するという取り組みや公共施設への太陽光パネルの設置を検討し、目標達成に近づいていきたいと考えている。

委員 エアコンの話について、学校の建物は断熱性に乏しく、建物面での工夫も考えなくてはならないと思う。ペアガラスの採用や遮光性の高いカーテンなどできることはあるはず。公共施設は避難所に指定されており、建物の工夫は緊急時の快適性の向上にもつながる。できることから始めることが大切だと思う。

(午前 11 時 50 分終了)